

東北地方 1 か月予報

(2 月 5 日から 3 月 4 日までの天候見通し)

平成 1 7 年 2 月 4 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

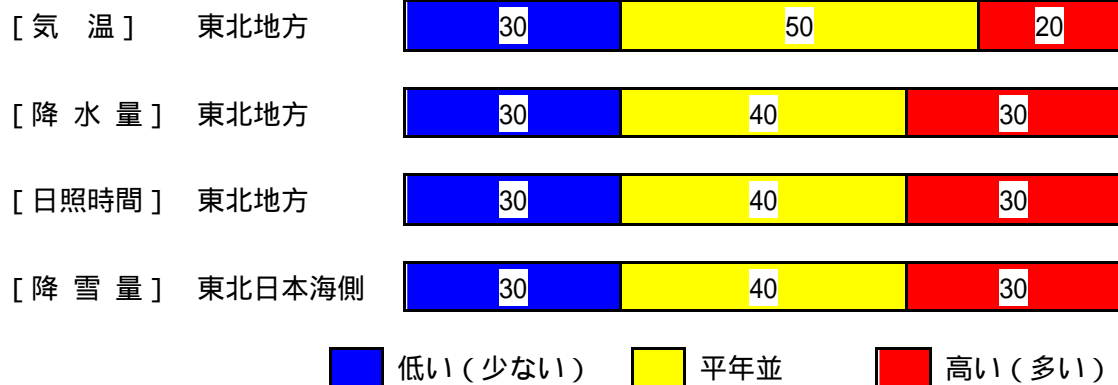
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

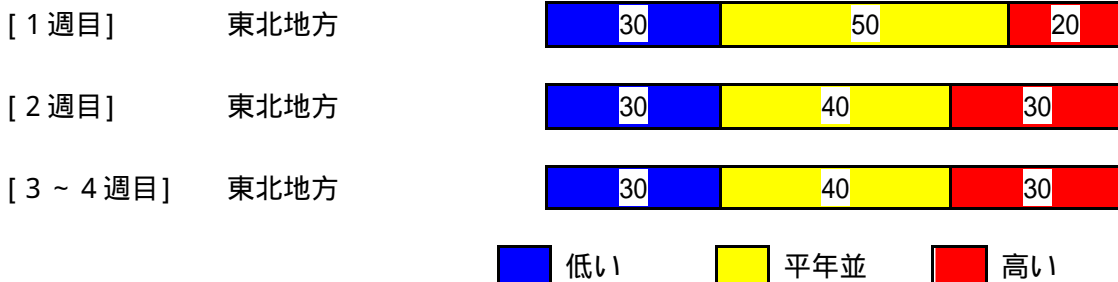
向こう 1 か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並、2 週目は平年並、3 ~ 4 週目は平年並でしょう。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 2 月 5 日 (土) ~ 3 月 4 日 (金)
1 週目 : 2 月 5 日 (土) ~ 2 月 1 1 日 (金)
2 週目 : 2 月 1 2 日 (土) ~ 2 月 1 8 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 2 月 1 9 日 (土) ~ 3 月 4 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 2 月 1 1 日
3 か月予報 : 2 月 2 4 日 (木) 1 4 時 0 0 分
暖候期予報 : 2 月 2 4 日 (木) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	1.1	56.2	142.0	23	0.5	0.9	1.6
新庄	-0.6	134.0	62.0		-1.3	-1.0	-0.2
若松	-0.1	64.6	100.7	101	-0.8	-0.4	0.5
深浦	0.0	74.8	54.3		-0.7	-0.3	0.6
青森	-0.8	105.8	79.0	188	-1.6	-1.2	-0.2
むつ	-1.3	82.2	97.4		-2.0	-1.7	-0.7
八戸	-0.6	50.1	134.3	54	-1.4	-1.0	0.0
秋田	0.5	90.4	71.2	74	-0.3	0.1	1.0
盛岡	-1.2	55.2	131.5	55	-2.2	-1.6	-0.6
宮古	0.5	75.9	152.1	41	-0.2	0.2	1.0
酒田	1.7	107.9	66.3	53	1.1	1.4	2.2
山形	0.1	65.5	104.1	83	-0.6	-0.2	0.6
仙台	2.0	47.7	152.3	26	1.3	1.8	2.5
石巻	1.2	43.1	163.2		0.5	1.0	1.7
福島	2.1	49.5	147.0	31	1.4	1.9	2.6
白河	0.8	42.0	154.5		0.1	0.6	1.2
小名浜	4.0	60.6	172.5	0	3.3	3.7	4.4

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.6	78 ～ 112	97 ～ 104	72 ～ 121
東北日本海側	-0.4 ～ +0.5	93 ～ 108	92 ～ 106	78 ～ 125
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.6	62 ～ 121	98 ～ 104	62 ～ 123

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.8	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.6
東北日本海側	-0.7 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.7 ～ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.7

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 17 年 2 月 4 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (2 月 5 日 ~ 3 月 4 日):

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目 (2 月 5 日 ~ 2 月 11 日):

期間の初めと終わりは冬型の気圧配置で、東北日本海側や東北太平洋側の山沿いでは曇りや雪ですが、東北太平洋側の沿岸部では晴れる所が多いでしょう。期間の中頃は、気圧の谷の影響で曇りや雪となる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目 (2 月 12 日 ~ 2 月 18 日):

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3 ~ 4 週目 (2 月 19 日 ~ 3 月 4 日):

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

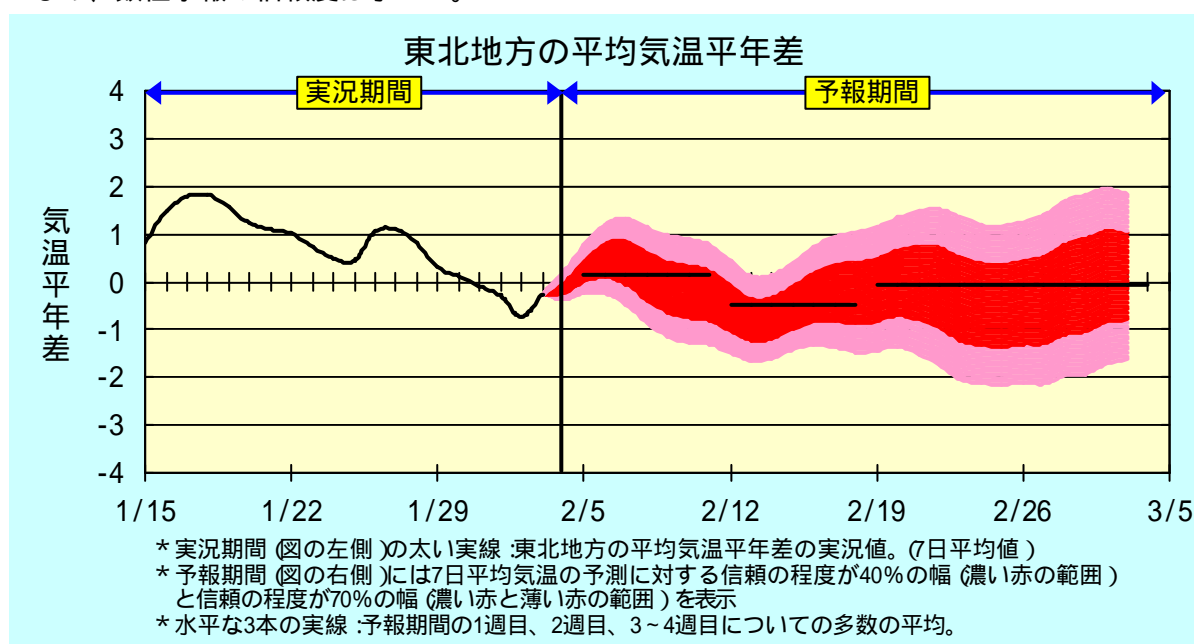
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
東北日本海側	7.1 日	1.4 日	1.7 日	4.0 日
東北太平洋側	17.7 日	4.6 日	4.4 日	8.7 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3 ~ 4 週目を「平年並」と予測している。予報は、数値予報通りとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

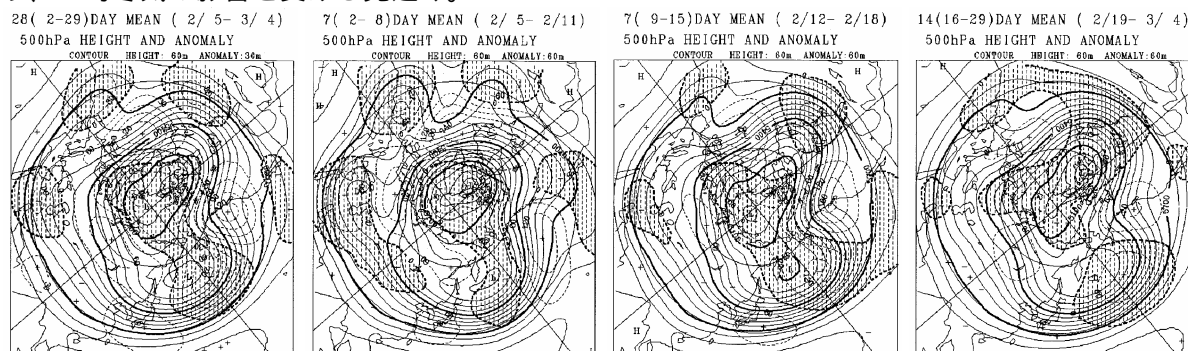


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日付変更線付近が強い負偏差で、シベリアが強い正偏差となる。日本付近は正偏差に覆われるが、日本の東が気圧の谷となっており、一時寒気の影響を受ける見込み。

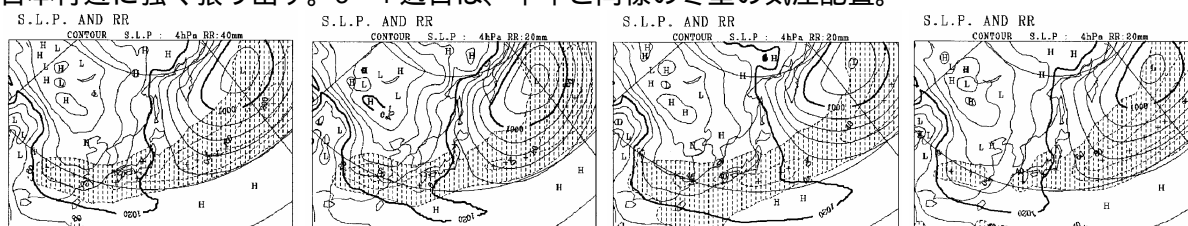
日本付近は、1 週目西日本中心の正偏差、2 週目日本の南東海上に中心を持つ正偏差、3～4 週目はシベリアに中心を持つ正偏差に覆われる。各週とも日本の東や日付変更線付近が負偏差となり、一時寒気の影響を受ける見込み。



地上気圧と降水量：

月平均は、平年と同様の冬型の気圧配置となる。日本の南岸には降水域が広がり、低気圧の通過を示唆するが、降水域は東西方向にのびており、東北地方への影響は小さい見込み。

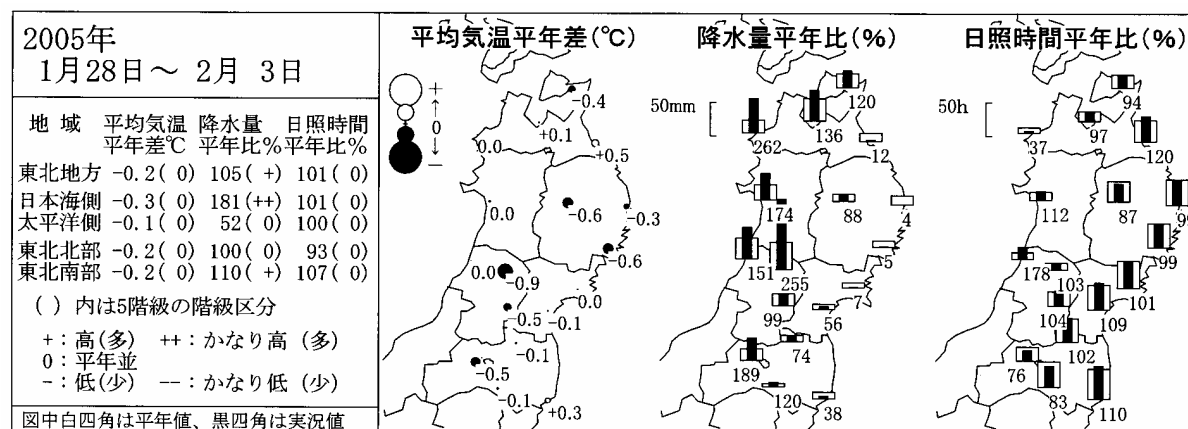
1 週目は、平年と同様の冬型の気圧配置となる。2 週目も冬型の気圧配置だが、大陸の高気圧が日本付近に強く張り出す。3～4 週目は、平年と同様の冬型の気圧配置。



4．最近 1 週間（1 月 28 日～2 月 3 日）の天候の経過

期間の始めは高気圧に覆われ概ね晴れて気温も高かったが、29日夜に寒冷前線が通過した後は上空に強い寒気が入って強い冬型の気圧配置が続いた。このため、大雪や強風により列車の運休など交通機関に影響が出た。また、30日は宮城県で漁船が転覆し、1名が行方不明となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北地方で平年並。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）